

	児童の実態	改善プラン	改善プランの評価方法
国語	<p>①ひらがなが定着し、言葉や文を書くことに、意欲的な児童が多い。拗音や長音、促音、助詞の使い分けを身に付けていく必要がある。</p> <p>②体験したことや好きなこと等を友達に話すことは、多くの児童ができています。みんなの前で話す力、最後までよく聞く力を高める必要がある。</p> <p>③本が好きな児童が多く、読み聞かせや自由読書を楽しんでいる。話の内容を正しく捉える力を付けるとともに、様々な種類の本に触れる機会をもつ必要がある。</p>	<p>①言葉を書く活動を多く取り入れ、拗音や長音、促音の使い方を身に付ける。「は」「を」「へ」の使い方については、国語を中心とした全教育活動を通して、繰り返し指導を行う。</p> <p>②二人組など少人数で話す機会を増やすことで、伝える力を付ける。<u>うなずきながら聞いたり、質問したい事を考えながら聞いたりする活動を取り入れることで、聞く力を高める。</u></p> <p>③物語文や説明文の授業を通して、文章の内容や構成、言葉の確認を丁寧に行う。<u>音読を繰り返し行うことで、言葉のまとまりや内容の大体を捉えられるようにする。</u></p>	<p>①②③授業の様子、補習、復習プリント、テスト等で評価する。</p>
算数	<p>①10までのたし算、ひき算の計算が定着した。しかし、計算の時間に大きな個人差があるため、全員の計算の習熟を確実にする必要がある。</p> <p>②文章題から具体的な場面をイメージすることが苦手な児童が多いため、問題文と数量関係と図や絵を結び付けて考えられるようにする必要がある。</p> <p>③数を数え、読んだり書いたりすることはできている。数の構成や分解についての理解が定着する指導が必要である。</p>	<p>①授業で計算問題に取り組んだり、家庭学習で計算問題を行ったりする時間を設ける。</p> <p>②問題文の大切な言葉にアンダーラインを引く形式的な指導でなく、<u>問題文を絵や図に表現することで、具体的なイメージをずる時間を設ける。</u></p> <p>③授業の中で、数の構成についての指導を重ねる。数感覚を養う指導を継続的にしていく。</p>	<p>①②③日々の授業中の活動の様子やノートの見取り、単元ごとのテスト等で評価する。</p>
生活	<p>①学校探検や校庭での自然観察を楽しみ、身近な人々、自然への関心を高めることができた。活動の見通しをもって取り組む力を高める必要がある。</p> <p>②朝顔の観察や世話を楽しみ</p>	<p>①<u>「何をするのか」「どのようにするのか」「やってみてどうだったか」と活動前後の話し合い活動を充実させる。</u> 人と交流する機会や体験活動を意図的・計画的に取り入れ、学習環境を整える。</p> <p>②動植物に対して関心をもてるよ</p>	<p>①②活動の様子や、まとめでの発言や学習カードの表記内容で評価していく。</p>

	ながら継続して行うことができた。観察の視点が広がるような手だてが必要である。また、他の生き物へと関心を広げていく必要がある。	うに絵本等の視覚的な資料を活用する。「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」などの感覚を通して表現する方法を具体的に提示し、学習に活用できるようにする。よい気づきを価値付けて全体で共有する。	
図工	①絵を描くこと、ものをつくるのが好きな児童が多い。はさみやのりの使い方については、丁寧な指導が必要である。 ②友達の作品のよいところを見付ける視点がもてるように手だてを講じる必要がある。	① <u>道具の使い方については、はじめに説明をして全体で確認し、個別指導も加えながら、練習を繰り返していく。</u> ②今後も制作後、振り返りをしたり、よいところを伝え合ったりする活動をしていく。	①児童の作業の様子や作品を観察し、評価する。 ②発表やカードなどから評価する。児童の作品を観察し、評価する。
体育	①運動に対して前向きな姿勢で取り組む姿が見られる。幼稚園・保育園での運動経験の違いが大きいいため、様々な運動を授業の中で行い、運動経験を豊かにしていく必要がある。 ②苦手意識のある動きに対して取り組むことが難しい児童がいるため、スモールステップで運動感覚を育てていく必要がある。	①1年間を通して、様々な運動遊びを設定し、運動経験を積むことができるようにする。 ② <u>簡単な動きをスモールステップで行うことによって、運動感覚を育めるようにする。全員ができるようになった達成感を味わえるようにする。</u>	①単元のねらい、指導計画を見直すとともに、児童の様子を観察し、評価する。 ②児童の様子を見たり、学習カードを使用したりして評価する。
道徳	①教材を通して、登場人物の気持ちを考えることができるようになってきている。 ②教材から深める道徳的価値について、自分自身の生活と結び付けながら考える力を身に付ける必要がある。	①教材提示の工夫（場面絵・紙芝居・読み聞かせやテレビ表示など）をし、 <u>物語の中に入り込み、主体的に考えられるようにする。</u> ②自分自身の生活についても関連付けて振り返られるよう、自分と向き合う時間を多く確保したり、授業の始めに、考える価値を明確にしたりすることで、考えられるようにする。	①②共に、授業中の発言、ワークシート、学校生活での言動の内容で評価する。
特別活動	①当番活動に意欲的に取り組む児童が多い。よりよい学級のための活動を広げていく必要がある。 ②話合いに徐々に慣れてきて	① <u>意欲的な児童を学級全体の場や個別に認め励ましながら、称賛する。</u> また、定期的に活動内容の確認や振り返りをする。 ②定期的に学級会を行う。	①活動の様子を観察し、評価する。 ②話合い活動の児童の様子を観

	<p>いる。自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりする経験を重ねる必要がある。</p>	<p><u>全体での話し合いの前に小集団で話し合ったり、カードに書いておいたりするようにしていく。</u></p>	<p>察して、評価する。</p>
音楽	<p>①歌を歌ったり、聞いたりすることが好きな児童が多い。これまでの経験の差から、知っている曲が違いため、様々な曲に触れ合う機会を設ける必要がある。</p> <p>②リズム遊びに楽しく取り組み、カスタネットやタンブリンなどの楽器に親しんでいるが、個人差があるため楽器を扱う活動を繰り返し取り入れる必要がある。</p> <p>③鍵盤ハーモニカを使って簡単な演奏をすることができる。指遣い、タンギングは丁寧な指導が必要である。</p>	<p>①教科書やむぎぶえ等を活用し、様々な曲に親しむ時間を設ける。</p> <p>②短い時間を使って繰り返し楽器を扱う機会を設ける。ペア活動を行ったり、グループごとに演奏し、聞き合ったりする機会を設けていく。</p> <p>③指番号や「トゥ」というタンギングの音を視覚的に掲示し、慣れるようにする。繰り返し練習する時間を確保し、定着を図る。個別指導の時間も十分に確保する。</p>	<p>①授業中の様子を見取り、評価する。</p> <p>②定期的にテストを行い、確実に身に付いているか確かめる。</p> <p>③学習の定着を図り、確認テストを行い、評価する。</p>